



SSKP つくしんぼの会報紙

つくつく通信

"つくしんぼ"はハンディをもつ子どもたちのための放課後活動のスペースです

2001年2月号
(No.50)

編集~フリースペース
つくしんぼ
町田市小川1511番地
TEL 042(796)8468

女性職員を探しています

創刊50号
このつくつく通信、実は今月
が記念すべき50号なのです。

補助金を貰うまでの二年間、
補助金を貰つてから三年間、計
五年の間、年十回のペースでこ
つこつと発行してきました。

というわけで、本来なら特別

記念号としておめでたい話で明
るくパーッと盛り上げたいところ
なのですが、そうもしていら
れない事情がつくしんぼにはあ
りまして……。

辛いとこです

この二年間つくしんぼで頑張つ
てきてくれた女性職員が、三月
をもって退職することになりました。
した。実は、去年の九月にも二
年半やつてきてくれた男性職員
が辞めたばかり。(幸いにも、
男性職員の方はすぐに見つかり
ました)

それでも、それまでつくし
んぼを支えてくれた職員が半
年の中に二人ともいなくなると
いう現実は、私達にとって本当に
辛いところです。

でも、つくしんぼの受けている
補助金+親の負担金+バザー
の利益:程度の予算では、職員
達の将来的な保障などとても出
来ません。なんせ、平均的な行
政職員の一人分の経費で、職員
三人分の賃金+パート賃金+先
生方への謝礼+施設としての維

就職ではない

職員になつてくれそうな方
をつくしんぼに誘う時、私達
は「将来的な保障は無理なの
で、就職とは考えず、つくし
んぼを次の目的やステップの
ための踏み台と考えて働いて
欲しい」と言うようにしてき
ました。随分と勝手な言い方
ですが、そう言つて納得して
貰うしかなかつたからです。

本音を言えば、私(代表)な
どの代わりにつくしんぼをすつ
と支えていつて欲しいと思う
のだけれど、金銭的なことを
考へるとともに言えず……。

九月に辞めた男性職員は、
故郷に帰り、なんとか一般企
業に就職してくれました。三

月で辞める女性
職員も、次のス
テップを考えて
いるのですから。



月で辞める女性
職員も、次のス
テップを考えて
いるのですから。

月で辞める女性
職員も、次のス
テップを考えて
いるのですから。

人中の方とか、結婚してまだ
子どもがいないので時間的に
余裕のある方などには、つく
しんぼの活動時間は基本的に
午後一時~五時だけですから、
勉強も家事も出来ますし、他
のアルバイトよりも条件面で
はかなりいい(?)ような気が
しています。(これまたかなり
勝手な言い分ですけど…)

なお、今回、特に女性にお
かれが出て来ません。社会保
障関係もかなり難しいです。
それでも構わない。一年と
か二年とか、多少人生の回り
道になるかも知れないけど、
つくしんぼで子ども達と一緒に
遊んでもいいかな、という
方に、いらっしゃって頂けたら
嬉しいです。

この通信を読んで、つくし
んぼで働いてもいいという方
がいらっしゃいましたら、つ
くしんぼの方までご連絡、ま
たはご紹介下さい。よろしく
お願い申し上げます。

この通信の紙上で報告には実
際らいがあります。以前、予
算決算のことを詳しく書いたと
ころ、「紙面上での会計報告は
如何なものか?」とクレームが
ついたことがあります……。

だからと言って、ささえる会
の通信の紙上で報告には実
際らいがあります。以前、予
算決算のことを詳しく書いたと
ころ、「紙面上での会計報告は
如何なものか?」とクレームが
ついたことがあります……。

そもそも「ささえる会」と名
乗りながら、「会」としての活
動が何もない点も問題なのです
が、なかなか余裕もなく……。

「会」という名称を変えること
も考えていました。

会員の皆様には、別紙で会計
報告することも検討してあります
ので、よろしく考慮お願ひ

いたします。

ささえる会「入会・ご更新
ありがとうございます」

